

IV 本学の授業実施方法

1. 学年と学期

本学の学年は、4月1日に始まり、翌年3月31日に終わります。この1年間を春学期（4月1日から9月30日まで）と、秋学期（10月1日から3月31日まで）とに分けた上で、さらに各学期の授業期間を2つに分け、前半を春1期・秋1期、後半を春2期・秋2期とし、セメスター（2学期）に加え、クォーター（4期）で授業が実施できるよう学期を設定しています。セメスターの授業については15週分、クォーターの授業については8週分の授業を行います。なお、全学教育科目は春1期・春2期、秋1期・秋2期を通してセメスターで授業を行います。本年度の授業日程は、本冊子の表紙裏面に示したとおりです。

各学部が開講する学部科目に関しては、それぞれの学部の事情により、一部異なる日程が組まれることもありますので、注意してください。

2. 期

大学における修業年限は、通常4年間（医学部医学科は6年間）ですので、この間に8つの学期（医学部医学科は12の学期）が含まれることになります。この学期を入学年度の春学期から、順次、通し番号を付けて次のように呼びます。

なお、期の順番を現す数字はローマ数字を使用します。

1年次		2年次		3年次		4年次	
春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期
I期	II期	III期	IV期	V期	VI期	VII期	VIII期

3. 休業日

授業を行わない日を休業日といいます。本学の定期的な休業日は、次のとおりです。ただし、休業日であっても、教育上必要がある場合には、授業を行うことがあります。

1日限りのもの 日曜日、土曜日、国民の祝日に関する法律に規定する休日
長期のもの 夏季休業、冬季休業

4. 授業時間

本学の授業時間は、通常2時間（実時間90分）連続して行われます。ただし、物理学実験、化学実験、生物学実験、地球科学実験などのように3時間（実時間135分）連続の授業もあります。

各授業の開始時刻・終了時刻は、次表のようになっており、その日の最初の授業から順次、通し番号を付けて次のように呼びます。この授業時間は、1年間を通じ、また、全ての学部に通じて定められています。

なお、3時間（実時間135分）連続の授業は、二つの時限にわたる授業です。

8:45～10:15	10:30～12:00	13:00～14:30	14:45～16:15	16:30～18:00
第1時限	第2時限	第3時限	第4時限	第5時限

5. 授業科目と単位制度

授業科目は、開講科目とも、単に科目ともいうことがあります。この授業科目には、授業の形態により次の授業形式に分けられます。

また、大学では、学生の学修を数量的に表示するために単位制度が採られており、本学の教育課程を修了するためには、各学部で定められた履修基準に従って、所定の全学教育科目及び学部科目の単位を修得しなければなりません。

授業形式	内容	授業時間・単位数	科目区分
講義	授業が、担当教員の講ずることを中心として進行する形態のものをいう。	2時間×15週 (実時間 90分) 2.0 単位	健康・スポーツ科学講義 文系基礎科目 理系基礎科目 (実験を除く) 文系教養科目 理系教養科目 全学教養科目
演習	授業が、受講人員の制限のもとで、学生の主体的な学修を中心として進行する形態のものをいう。	2時間×15週 (実時間 90分) 1.0, 1.5, 2.0 単位 ※	基礎セミナー 言語文化
実習	授業が、学生の実地または実物について学修、あるいは、学生の実技や技能についての修得などを中心として進行する形態のものをいう。	2時間×15週 (実時間 90分) 1.0 単位	健康・スポーツ科学実習
実験	授業が、実験で行われる形態のものをいう。	3時間×15週 (実時間 135分) 1.5 単位	物理学実験 化学実験 生物学実験 地球科学実験

※どの授業科目がどの単位数になるかは「Ⅷ 各授業科目 1. 授業科目表及び履修に関する注意事項」で確認してください。

6. 成績評価基準及び GPA 制度 ※詳細は、2021 年度名古屋大学学生便覧を参照してください。

(1) 成績評価

成績評価は、授業科目によって 6 段階評価 (A+, A, B, C, C-, F) 又は 2 段階評価 (P, NP) のいずれかが用いられます。評価記号に対応する評価基準は次のとおりです。不合格の場合は単位を修得できません。

	評価記号等	合否等	評価基準等
6 段階評価	A+	合格	際立って優れている。主題を全て理解し、広範な知識を持ち、概念や方法を巧みに使いこなして高度な課題を遂行できる。
	A		優れている。主題のほとんどを理解し、必要な知識を持ち、概念や方法を適切に使って課題を遂行できる。
	B		良好である。主題を十分理解し、問題・題材を扱うことができる。
	C		良好な面もあるが不足も目につく。主題の基本的な部分を理解し、比較的簡単な問題を扱うことができ、より高度な学修に進める状態になっている。
	C-		最低限の基準に達している。主題を最低限理解し、簡単な問題を扱うことはできるが、より高度な学修へと進むには更に努力が必要である。
	F	不合格	最低基準を満たしていない。
2 段階評価	P	合格	合格 (合否等により成績評価を行う授業科目)
	NP	不合格	不合格 (合否等により成績評価を行う授業科目)
その他	T	合格	認定 (入学前や他大学等で修得した単位)
	W	---	学生から履修継続の意思がないことが申し立てられたため又は様々な合理的理由 (課題が提出されない、試験を受験しない等) から学生に履修継続の意思がないと教員が判断したため、成績評価を行わないことを示す。

授業科目によっては、100 点満点による評価を行った上で 6 段階評価に換算する場合があります。その場合の標準的な方法は次のとおりです。ただし、この換算表によらない場合がありますので、個々のシラバスを確認してください。

評価記号	A+	A	B	C	C-	F
100 点満点評価	95 点以上	80 点以上 95 点未満	70 点以上 80 点未満	65 点以上 70 点未満	60 点以上 65 点未満	60 点 未満

2) GPA 制度

本学では、学生の自律的な学修の促進及び成績評価の国際通用性を高めるための方策の一環として、平成 23 年度以降入学者を対象とするカリキュラムが適用される学部学生に、グレード・ポイント・アベレージ（履修科目の成績の平均値。以下「GPA」という）制度を導入しています。

① GPA の種類及び算出方法

GPA は、当該学期における学修の状況及び成果を示す指標としての GPA（学期 GPA）及び在学中における全期間の学修の状況及び成果を示す指標としての GPA（累積 GPA）の 2 種類があり、計算式は次のとおりです。算出された数値に小数点以下第 2 位未満の端数があるときは、これを四捨五入します。

$$\text{学期 GPA} = \frac{\text{当該学期における A+ の単位数} \times 4.3 + \text{A の単位数} \times 4.0 + \text{B の単位数} \times 3.0 + \text{C の単位数} \times 2.0 + \text{C- の単位数} \times 1.0}{\text{当該学期における A+ の単位数} + \text{A の単位数} + \text{B の単位数} + \text{C の単位数} + \text{C- の単位数} + \text{F の単位数}}$$

$$\text{累積 GPA} = \frac{\text{在学中の全期間における A+ の単位数} \times 4.3 + \text{A の単位数} \times 4.0 + \text{B の単位数} \times 3.0 + \text{C の単位数} \times 2.0 + \text{C- の単位数} \times 1.0}{\text{在学中の全期間における A+ の単位数} + \text{A の単位数} + \text{B の単位数} + \text{C の単位数} + \text{C- の単位数} + \text{F の単位数}}$$

② GPA への算入・不算入

- ・卒業要件に関わる授業科目を算入します。
- ・随意科目及び教職科目等の卒業要件に関わらない授業科目は算入しません。
- ・P, NP, T 及び W をもって評価された授業科目は算入しません。
- ・再履修した授業科目の GPA の取扱い
 - ・F の評価を受けた授業科目を再度履修して A+, A, B, C 又は C- の評価を受けた場合には、F の評価は累積 GPA に算入しません。
 - ・F の評価を受けた授業科目を再度履修して F の評価を受けた場合には、F の評価は、累積 GPA に複数回算入しません。
 - ・F の評価を受けた後に、検定試験の成績による単位認定等により T の評価を受けた場合には、F の評価は累積 GPA に算入しません。
 - ・単位を修得した授業科目を再度履修して A+, A, B, C, C- 又は F の評価を受けた場合には、再度履修した授業科目の評価は、GPA に算入しません。
 - ・以上の場合において、重複して履修することが認められている授業科目は、この限りではありません。

③ GPA の通知

GPA は各学期末の修得科目確認表に、学期 GPA 及び累積 GPA が記載されます。

7. 成績評価に関する問合せ

全学教育科目の成績評価に関して疑義が生じた場合は、書面をもって問い合わせることができます。成績が発表された日から原則 3 日以内（成績発表日を含む）に、教養教育院事務室へ「成績評価照会票」を提出してください。手続方法は、教養教育院ホームページに掲載しますので、NUCT から「成績評価照会票」を提出してください。

なお、受講した科目が表示されていない科目についても、直接教養教育院事務室へお問い合わせください。

* 専門系科目については、各学部教務学生係等の指示に従ってください。

8. クラス編成

本学に入學した学生は、学修上の便宜から入学当初に、入学年次・所属学部等を考慮して、次のようなクラスに編成されます。なお、クラス番号は、各学部の履修ガイダンス日等に学生番号と併せて通知されます。

◇クラス編成表

学 部	文：125				教育：65		法：150				経済：205					
学科等名																
ク ラ ス	1	2	3	4	1	2	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6
学 生 数	32	31	31	31	33	32	38	38	37	37	35	34	34	34	34	34

学 部	情：135			理：270											
学科等名	自然：38	人社：38	コン：59												
ク ラ ス	1	2	3	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
学 生 数	38	38	59	23	23	23	23	23	23	22	22	22	22	22	22

学 部	医：307							農：170						
学科等名	医：107	保健：200					環境：35	資生：55	生命：80					
ク ラ ス	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7
学 生 数	54	53	40	40	40	40	40	18	17	28	27	27	27	26

学 部	工：680																		
学科等名	化生：99			物工：83		マテ：110			電情：118				機航：150			環	土建：80		
ク ラ ス	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
学 生 数	33	33	33	42	41	37	37	36	30	30	29	29	38	38	37	37	40	40	40

〔注意〕 (1) 学部及び学科名等の後の数字は、学生の収容定員を示しています。

(2) 情報学部、医学部、工学部及び農学部は、学科ごとにクラス編成をします。

【情報学部学科略称】 自然：自然情報学科 人社：人間・社会情報学科 コン：コンピュータ科学科

【工学部学科略称】 化生：化学生命工学科 物工：物理工学科 マテ：マテリアル工学科

電情：電気電子情報工学科 機航：機械・航空宇宙工学科

エネ：エネルギー理工学科 土建：環境土木・建築学科

【農学部学科略称】 環境：生物環境科学科 資生：資源生物科学科 生命：応用生命科学科